

平成 20 年度事務事業評価表(団体運営費補助用)

①事務事業名		担当	部課コード	120300	TEL	2998-9242
事業コード	120301	ガールスカウト補助金	教育委員会教育総務部 社会教育課			
補助開始年度	昭和 50 年度	→	終了予定年度	平成 年度		
		グループ	社会教育推進担当			

根拠法令	社会教育法、所沢市社会教育関係団体補助金交付要綱					
分野別計画・指針	所沢市生涯学習推進計画・所沢市次世代育成支援行動計画					
関連・類似事業						
総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び 文化をはぐむまち	施策	3節 青少年育成	中柱	1 地域・家庭・学校の連携による青少年育成 小柱 (2) 青少年育成団体等への支援
行政改革大綱における行動計画への位置づけ						
コード	3261 事務事業見直しの推進		コード	1111 市民の知りたい情報の提供		コード
補助開始の背景	昭和50年から青少年団体活動助成事業として、ガールスカウトの事業に補助金として支出している。					
補助の目的	市内のガールスカウト2団に補助金を交付することにより、自然・社会体験学習や異年齢交流場としての事業が活発に行なわれることを期待し、その活動を支援する。					団体への加盟数
団体における実施事業の概要	キャンプ等の野外活動の実施を中心に、市民文化フェアや市民フェスティバル等にも奉仕活動を行っている。また、公民館等で行われる地区文化祭等にも積極的に参加している。					76 単位 人

③ 経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	補助金支出額当初予算		90	90	90
	補助額決算 (見込み含む)		90	90	/
	臨時職員賃金		人	人	
	正規職員人件費		0.09 人 828	0.09 人 845	
	事業費合計		918	935	
	市民一人当たり(単位:円)		2.7	2.8	

④ 指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	団体活動実績	部隊数	部隊数の合計	部隊	8	9	8	10
		団体加入人数	2団の団員数の合計	人	96	82	76	
	成果分析	年間事業数	1年間に実施した事業数の合計	目標値	480	480	480	480
実績				429	413			
	%	達成率	89.4	86.0	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2 1			

⑤ 一次評価	補助金の有効性	評価項目	総合計画への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度は高い	<input type="checkbox"/> ある程度貢献している	<input type="checkbox"/> 貢献度は低い	
		成果分析に基づく目的の達成度	<input type="checkbox"/> 達成度は高い	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度達成している	<input type="checkbox"/> 達成度は低い		
		団体活動の自主性	<input checked="" type="checkbox"/> 自主性は高い	<input type="checkbox"/> ある程度自主的である	<input type="checkbox"/> 自主性は低い		
		事業費に占める補助金の割合	<input type="checkbox"/> 81%以上	<input type="checkbox"/> 61%~80%	<input type="checkbox"/> 41%~60%	<input type="checkbox"/> 21%~40%	<input checked="" type="checkbox"/> 20%以下
		活動内容及び会計処理の適切さ	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善余地がある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が大きい		
		今後の必要性	<input type="checkbox"/> 増大する	<input type="checkbox"/> 減少する	<input checked="" type="checkbox"/> 変わらない		
	H20 目標設定	目標項目	教育基本法、社会教育法に規定されている地方公共団体の責務である社会教育の推奨、事業の実施などを、社会教育団体を支援することで効果を得ようとするものであ	達成水準	補助団体の活動実績の向上、参加者の増加を目指す。	時期	
H21予算の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り	<input type="checkbox"/> 増額	<input type="checkbox"/> 減額	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 終了		
上記評価理由(補助金の有効性及び予算の方向性)	青少年の自然・社会体験の減少してきされる中、野外活動や奉仕活動を通じ、青少年の健全育成を図っている社会教育関係団体である。ガールスカウトの活動意義は大きく、行政との連携は必要であり、今後とも必要な助成を継続していくものである。さらに、他の社会教育関係団体の指導者との交流など、社会教育行政としてこれからも引き続き多様な支援が必要である。						
評価日	平成20年5月9日	記入者職氏名	社会教育課長 則武辰夫				

⑥ 二次評価	次年度用評価	部内優先順位...	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標							<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト							<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価日								

⑦ 個別計画の方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード	
	施策の体系	施策の方向			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード	
	基本目標				
	主要課題				
	施策の方向				